学校番号	１００７

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	世界史Ａ						
使用教科書	世界史　新訂版（実教出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史上の人物の生き方から学び、自分の生き方を見つめなおす。
・現在の国際情勢につながる歴史事象について多面的に検証する。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、図表･絵画を歴史の流れの中で読み取る力をつける。
・現代の諸課題について、近現代史を中心とする歴史と結び付け、その因果関係について理解し、説明することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、平和な社会を構築するために、どのような選択をするべき（であった）かについての自分の意見を持つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。歴史に大きな影響を与えた人物や事象について歴史的に考察できます。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
Ⅰターム	むすびつく世界と日本	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革	○	○	○	○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、ヨーロッパの主権国家体制の成立に特質を見いだし、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、ヨーロッパの主権国家体制の成立、大西洋貿易の動向などの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動きについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
Ⅱターム	近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動	・ヨーロッパの主権国家体制 ・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

Ⅲターム	近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動	・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
Ⅳターム	二つの世界大戦・第二次世界大戦後の世界と日本	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦 ・冷たい戦争 ・アジア・アフリカの独立と混乱 ・多極化の進展と、冷戦体制の崩壊	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	A:二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義、第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立とアジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開を通して、国際社会に生きる立場から関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。